

# 第 17 回 文教厚生常任委員会

開催日	令和4年11月8日（火曜日）	
開催場所	粕屋町役場 3F 32 会議室	
開催時間	12:58～15:33	
出席者	議員	井上委員長・宮崎副委員長・本田委員・久我委員 田川委員・福永委員・古家委員
	事務局	山田主幹
	担当課	住民福祉部（神近部長） 子ども未来課（渡辺課長）
欠席者	なし	
協議事項	<p>報告事項</p> <p>1) 町立保育所・幼稚園整備の中間報告について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和2年度 中央保育所および仲原保育所の老朽化問題を含めた「町立保育所・幼稚園の今後の方向性」の検討を開始した。</li><li>・令和4年度 「粕屋町立幼稚園・保育所未来プロジェクト」を令和4年5月にキックオフ会議を行った。保育士・子ども未来課・学校教育課職員が参加し、3回にわたる会議を行い、「再編整備を進めるべきである」という結論に至り、報告を行った。</li><li>・10月18日 「子ども・子育て会議」において町立幼稚園の現状について意見を求め、今後の方向性について理解をいただいた。</li><li>・今後早急に再編を進め報告書の素案を作成し、専門家会議へ諮ったうえで、6月議会にて報告する予定。</li></ul> <p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・行政の動き、専門家を交えた動きの報告をお願いしたいが、どのように考えてあるか。⇒今年度中に素案を作ったところで来年度4月早々に専門家を交えて検討し、6月議会では素案の報告を行いたいと考えている。議会の方でも意見があるかと思われるので持ち帰り、再度専門家会議にはかり進めていく。</li><li>・再編を進める方向での、町長の考えは。⇒まだ、出されていない。再編整備の決裁は下りている。</li></ul>	

## 協議事項

### 1. 執行部より中間報告を受けての協議

- ・町が素案を示してからでなければ動けないということで、来年度では、遅いと思う。
- ・地元の幼稚園に通うことを保証することが大切で、定数割れなので減らすのは、いろいろな摩擦が生まれ議会としてその方向性を示すものではないと思う。議員間討議をしっかり行うべきだと思う。
- ・視察に行って学んでくる必要があると思う。幼稚園について東京の文科省に行って話を聞きたい。
- ・時間をかけてやらねばならない。議員で話し合っても、町の方向性が出ないと進まない。課題としてどうするか整理すべきである。
- ・行政は、町立の幼稚園に行っていないのはどうなのかという質問について、親が選ぶことだからといわれる。行政の中に入って行って一緒に考えていけないのか。スピード感をもって進めていかなければならない。
- ・中間報告を見て保護者の意向を聞くことがないことに疑問がある。素案をまとめるときに町民の意見を聞いてほしい。素案が出てしまったら、変えるのにとってもエネルギーがいる。
- ・募集人数にその結果が出ているのはないか。幼稚園には、やるべき幼児教育がある。支援が必要な子どもの教育に追われているのではないか。集団教育は必要であるのに少人数でそれができるのか。老朽化した建物をどうするのか。町外に通園している園児を町に取り戻すために何をすればいいのか。私たちは専門家会議までに何を提案すればいいのか。など多くの課題があり探っていきたい。
- ・本日、各議員から出された文書は、目を通して議員で共有していく。

#### ○決まったこと

- ・行政視察の実施について。1月中旬ごろに計画。(篠栗町と那珂川市を視察予定)
- ・執行部に町民へのアンケートの提案をする。

### 2. その他

- ・議会報告会について・・・民生委員の方々と議会報告会を2月に行う。
- ・閉会中の特定事件（所管事務）調査について